BEST AVAILABLE COPY

6日本国特斯疗(JP)

母実用新案出籍公室

@実用新案公報(Y2)

昭63-20232

Mint Cl.

超别記号

厅内整理番号

争9公告 四和63年(1988)6月6日

HOAR 1/10 A 41 D 21/00

103

7314-5D 7149-3B

(全3頁)

日考案の名称

防寒用耳あて・ヘンドホーン等のヘッドバンド

0字 駐 昭57-78393

8公 第 昭58-182594

展 昭57(1982)5月29日 Bill!

6昭58(1983)12月5日

砂 英 者 西沢 **多出原** 人 西沢

東京都台東区浅草橋4丁目6番8号 Œ 治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号

Œ 谷 好代 理 人 弁理士 佐々木 劝

容 査 官 大 野 笕 美

②実用新本登録請求の範囲

一方端に角状部が形成された二枚の弧状ばね棒 をそれぞれの貸択部に互いの強状ばね外を遊挿し て記設すると共に、該弧状ぽわけの他方端に耳ろ て本体あるいはレシーパーに取付けられる蛙番段 5 辨を一端に有する過結片の危端を回動自在に拡支 したことを特徴とする防災用耳あて・ヘッドホー ン等のヘッドパンド。

考末の詳細な説明

本体運結用に供するヘッドバンドの改良に関す る。従来のこの種防寒用耳あて・ヘッドホーン等 の本体連結用に似するヘッドパンドは二枚の気状 ばわ体の一方葉に資状部を形成し、この選択部に 互いの選択ばわ体を遊掉させて相互の選択ばわ体 15 の重なる距離を可変させて長さ鉄道を行うように しいた。

しかし、前記ヘッドパンドは唯単にヘッドパン ドの長さ調節を行うだけであったため収益、保管 する際に遊返つてしまい不便であった。

本考案は上記の点に選みなされたもので、収 財、保養時に煮暖ることのないように長さ制節と 折り得みとが行えるようにした防寒用耳みて・ヘ ツドホーン等のヘッドバンドを提供するものであ 形法された二枚の弧状ぽわ体をそれぞれの消状部 に互いの強状ばね鉢を遊挿して配設すると共に、 該弘扶ばね床の他方端に防寒用耳あて事体あるい はレシーパーに収付けられる漂滑機構を一端に有

する連結片の他弟を国動自在に枢支したことを待 嶽とする砂寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッド バンドにある。

以下、木名案を図面を多照して詳細に説明す

第1回は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン 等の不住理結用に供するヘッドパンドの一実旋例 を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに応用した ヘッドパンドを折り畳んだ伏恁を示す料準図、第 本考案は、種助専用耳もて・ヘッドホーン等の 10 3回は耳あて本体とヘッドパンドとの連鎖状態を 示す断面図で、第1関万王第3図において、1は 防寒川耳あてあるいはヘッドホーン等の本体連結 用に供するヘツドパンドにして、これは一方端に 育状部2が形成された三枚の弦状ばね休3のそれ ぞれに互いの質状師2を辺がし、かつそれぞれの 断状ばわば3の他方線に連結片4の一緒を回動自 存に摂支したもので、この連結片4の他端には左 右の耳あて本体をあるいはヘッドホーン本体(図 示せず)が娯楽技譜8によって媒斎され、防寒用 20 耳あて 7 あるいはヘッドホーンが構成されること になる。

しかして、本考案のヘッドパンド1は二枚の強 **状げむ体3のそれぞれの筒状部2に互いの弦状ば** ね体3を遊師すると共に、他方端を連結片4を介 つて、その疫肓とするところは一方端に質状部が 25 して耳あて本体 5に幾苦したものであるので、二 枚の盃状ばわ体3の強なり距離を可変させて長さ 関節を行うことができると共に、防寒用耳あて1 を収納、保管する場合には二枚の延択ばわ体3の 他方端に対しそれぞれに連結片4をほぼ直角に回

BEST AVAILABLE COPY

(2)

実公 昭 い-20232

助させて左右の耳あて本体5に対しそれぞれの弧 状ぽわ体3を平行に配することにより、第2回に 京すように大波状に耳あて木体5が弦状ばわ体3 そ伏んで対談することになり、耳あて7を非常に コンパクルドあり出りことができるものである。

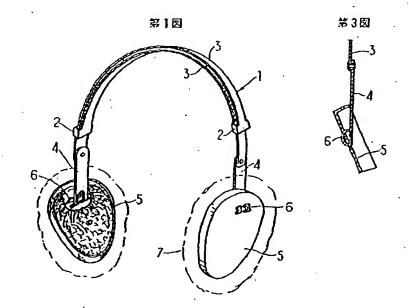
以上述べたとおり本考案のヘフドバンドは一方 福に背状部が形成された二枚の弦状ばわ体のそれ ぞれを互いの質状部に遺挿すると共に、数弦状は わ体の他方端に回動自在に連結片の一端を超支 ホーン字の本体が緑素投機を介して緑苔されてい るので、二枚の強扶げお休の重なる距離を可変す ることによりヘッドパンドの長さ誤節を行うこと ができ、かつ耳あてあるいはヘッドホーン等の本 体に対して平行に強伏ばた体を配することにより 15

前記左右の本体を弧状はお件を挟んで対設するこ とができ、よつてこのヘクドバンドによって連結 された創紀本体は非常にコンパクトに折り畳むこ とができ、収納、保管の際に表張ることもないも 5 のである。

日面の簡単な説明

第1回は本考米の防薬用耳あて・ヘクドホーン 等の本体連結用に供するヘフドバンドの一実誌例 を示す対役は、第2回は防寒旭耳あてに応用した し、この連結片の他端には耳めてあるいはヘッド 10 ヘッドパンドを折り登えだ状態を示す射視図、禁 3回は耳あて本体とヘッドパンドとの追訟状態を がすば山図である。

1……ヘッドパンド、2……貸状部、3……辺 扶战力体、4……迎结片。



BEST AVAILABLE COPY

(3)

美公 昭 63-20222

第2回

